

地域ネットワークニュース

～令和6年10月の勉強会のお知らせ & 令和6年9月の勉強会報告～

第291回 地域ネットワーク勉強会

『司法書士と成年後見制度』

のびひろ

講師：鈴木 伸洋氏(司法書士・行政書士)

カシマ総合法務サービス代表

日時：10月18日(金)

時間：午後7時～午後8時30分

場所：保健・福祉会館2階 研修室

定員：50名(要事前申込)

成年後見制度が発足した当初は後見人に選任されるのは本人の親族がほとんどでしたが、現在では司法書士や弁護士、社会福祉士などの専門職が選任されることが増えています。中でも司法書士については受任者の3割を占めるなど、成年後見制度と密接な関係にあります。

今回の勉強会では、市内で司法書士事務所を開き、数多くの成年後見制度についての相談を受け、実際に成年後見人として活動されている司法書士の鈴木さんをお招きし、司法書士に相談する際の流れや費用、制度の利用までにどのくらいの期間を要するのかなどを具体的事例を交えてお話いただきます。成年後見制度について身近な相談窓口のひとつである司法書士の仕事について学びながら、困った時に迷わないよう、事前に必要な知識を備えませんか。どなたでもお気軽にご参加ください。



会場には情報提供・紹介コーナーを設けています。福祉や医療に関する事業所等のパンフレットやチラシ、研修会のご案内など、配布、展示いたします。当日のご持参でもかまいません。みなさまからの情報をお待ちしています。

申込・問合せ先 神栖市社協 地域福祉総合相談センター 電話 0299-93-0294

第290回 地域ネットワーク勉強会報告

令和6年9月12日開催 <参加者51名>

支援者に知ってほしい！ 神栖市のひきこもり状態にある方への支援

【講師】

高橋 眞利子氏(全国Webカウンセリング協議会 茨城支部めだかの学校)

佐藤 節子氏(かみすライフサポートステーション)



今回の勉強会では、本会で実施している『ひきこもり家族相談』でアドバイザーとして活躍されている高橋さんと神栖市よりひきこもり推進事業を受託し『かみすライフサポートステーション』を運営している佐藤さんのお二人をお招きし神栖市のひきこもり状態にある方への支援をテーマにお話しいただきました。

高橋さんからは、ひきこもり家族相談が出発点となり、家族関係の再構築→本人の自立につながった事例についてご紹介いただきました。ひきこもりになる要因は本人にあると思われがちですが、相談で話を伺うと、両親が不仲で会話がなかったり、子どもの意見を十分に聞いてあげられていなかったりと、実は根本的な課題が家族の中にあることもあります。その課題に家族が向き合う覚悟、家族が変わる覚悟、時間がかかる覚悟を持つことが大切であることを伝えていただきました。佐藤さんからは『かみすライフサポートステーション』の立ち上がった経緯から相談の流れ、支援の特徴など現在支援している4名の事例を交えながらご説明いただきました。ひきこもり状態になるきっかけは十人十色であり、ご本人が自立するタイミングをつかめるように誰かが見守り、関わり続けることが大切だとお伝えいただきました。